

事業番号	11 08 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	快適・安心住まいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課	
		実施期間	～	E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	3-1-3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト、7-3-4 活動人口増加プロジェクト					
施策の総合的展開	1-4森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 2信州の木の利用促進、1-5地域の暮らしを支える産業の振興 2地域に根ざした建設産業の振興 2-1 魅力ある地域の創造と発信 5移住・交流の推進 3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり 1地球温暖化対策と環境・エネルギー政策の推進 5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 3ゆとりある住環境の形成					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○少子高齢化と人口・世帯数減少の進展により、住宅ストックは量的に充足されている状況ではあるが、空き家の増加や住宅産業の後継者不足等の住宅施策上の諸問題の要因にもなっている。 ○既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止、地域の住まいづくりを支える担い手確保に向けた取組等が求められている。	29年度決算額	139,300 千円
		職員数	4.10 人
目指す姿	○省エネルギーへの配慮や豊富な森林資源を活用した住まいづくりの促進を図り、一人ひとりがすこやかに暮らせる快適で健康な住まい、長く活用される良質な住まいの普及を目指す。 ○人口・世帯数減少社会に対応するため、空き家の適正な維持管理、移住・二地域居住の促進にも資する既存住宅の有効活用、住まいづくりの担い手確保に向けた普及啓発や木造建築物の魅力の発信等に取り組み、多様な居住ニーズに応える魅力的な地域づくりを目指す。 (主な実施内容:省エネルギーに配慮した住宅の新築・リフォームへの支援、空き家対策の促進、木造建築物の普及促進 など)		

事業 コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況											
		前年度繰越	0	0	0	0	No	成果指標	27年度末	28年度末	29年度						
		当初予算	134,581	157,792	148,582	204,410					目標値	成果	達成状況				
予算額	補正予算	0	0	0	0	① 新築住宅の県産木材使用量(助成対象分)	3,058㎡	3,280㎡	3,280㎡	3,322㎡	達成						
	合計(A)	134,581	157,792	148,582	204,410												
	一般財源	66,373	85,546	81,071	112,315							② 新築住宅省エネルギー基準適合率	74.2%	75%	80%	76%	未達成
	県債	0	0	0	0												
Aの財源	国庫支出金	67,256	71,186	66,366	90,992	③ 空家等対策計画を策定した市町村の割合	4.0%	6.5%	20%	36.6%	達成						
	その他	952	1,060	1,145	1,103												
	決算額(B)	120,924	135,199	139,300													
概算人員費	職員数(人)	2.3	3.8	4.10	4.20	④ 新設住宅(持ち家)における木造在来工法の割合の維持	74.8%	75%	75%	75%	達成						
	概算人員費(C)	19,035	30,073	33,218	34,028												
	概算事業費(B(A)+C)	139,959	165,272	172,518	238,438												

成果指標設定理由	①県産木材を利用した住宅への補助による利用促進の効果として、県産木材の出荷量を成果指標に設定 ②建築物環境エネルギー性能検討制度等による効果として、建築物省エネルギー基準への適合率を成果指標に設定 ③県が技術的助言等の支援を行うことによる市町村の空き家対策の推進の成果として、計画を策定した市町村の割合を設定 ④木造在来工法の住宅への補助等による木造住宅振興の効果として、新設住宅における木造在来工法の割合を設定
----------	---

目標に対する成果の状況	①④県産木材を利用した住宅への助成制度や、助成対象住宅の完成見学会の実施等の普及啓発により、県産木材使用量及び木造在来工法の割合は、目標を上回った。 ②省エネ住宅の事例集の作成・配布による意識啓発を図ったものの、新築住宅の省エネルギー基準適合率は前年度から微増に留まり、未達成となった。 ③空き家対策地域連絡会等を通じ、市町村間の情報共有やサポートを実施した結果、計画策定率は目標を上回った。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	課題		今後の方向性
	・助成制度を活用しない住宅への信州木材認証製品の活用促進と、認証製品に限らない、県産木材の活用の促進 ・省エネ住宅の普及啓発		・住宅見学会等による県産木材のPRを継続して実施するとともに、助成対象に認証製品以外の県産木材を追加し、広義の県産木材の活用促進を図る ・事例集の活用による普及啓発を実施し省エネ住宅の普及を図る

### 3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)
					(当初)	(決算)	
1		住宅総務費	住宅施策に関する調査審議、建築基準法令等に規定される事項の調査、審議、同意又は議決等	0.50	1,410	678	1,485
		環境配慮型住宅普及促進事業費	快適で環境に優しい環境配慮型住宅の新築及びリフォームへの助成を実施				188,760
2	3-1-3	信州健康エコ住宅推進事業費	環境負荷低減に配慮された良質な木造住宅の普及を図るため県産木材を使用した省エネルギー性能を有する住宅の新築を支援	0.60	77,680	71,147	0
3	3-1-3	信州型住宅リフォーム促進事業費	良質な住宅ストックの形成と有効活用を促進するため、既存住宅の省エネルギー化(断熱改修)等のリフォーム工事を支援	1.30	48,500	47,132	0
4		住宅新築資金等貸付助成事業費	過去に市町村が実施した「住宅新築資金等貸付事業」貸付金の償還を推進するため、国庫補助と併せて市町村への助成を実施	0.10	4,366	4,337	5,077
5	3-1-3	エネルギー配慮型住宅・建築物促進事業費	戸建て住宅への省エネ性能等に関する検討制度の効果・実績、事例等について県民等対象に普及啓発を実施	0.20	614	567	0
6		空き家適正管理促進事業費	空き家の適正な管理・円滑な利活用の促進のため、市町村の空き家対策への支援や中古住宅流通促進のための助成を実施	0.70	2,867	2,810	2,867
7	7-3-4	信州木のある暮らし推進事業費	木造建築物の普及と担い手確保に向けた取組み、二地域居住者向けコンパクト住宅の普及に向けたPR等を実施	0.50	11,362	11,268	3,066
		新たな住宅セーフティネット制度構築事業費	住宅確保要配慮者需要調査 民間賃貸住宅供給調査				1,921
8		分譲団地残地管理事業費	昭和56年まで旧土木部・企業局が分譲した団地に係る公衆用道路、水路及び法面等の県名義の残地について適正管理を実施	0.20	1,783	1,361	1,234
合計				4.10	148,582	139,300	204,410

## 事業改善シート附表

事業番号 11 08 01	事業名	快適・安心住まいづくり支援事業				部局	建設部		課・室	建築住宅課			総合5か年計画プロジェクト				備考 (H28事業 番号)	
		項目	実施方法	29年度 実施内容(予定)	29年度 実施内容(実績)		29年度 実施 状況	27年度 当初 (千円)		28年度 当初 (千円)	29年度			番号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)		実施 年度
1	住宅総務費	長野県住宅審議会	直接	・長野県高齢者居住安定確保計画の見直し(調査・審議)	長野県高齢者居住安定確保計画の改定、新たな住宅セーフティネット制度の検討のため、審議会を2回開催	計画通り ○	288	575	287	287	263							110801
1	住宅総務費	長野県建築審査会	直接	・建築基準法の規定に基づく同意、建築基準法第94条第1項の審査請求に対する裁決他	建築基準法の規定に基づく同意のため、審査会を1回開催	計画通り ○	720	828	880	880	217							〃
1	住宅総務費	長野県建築士審査会	直接	・二級・木造建築士試験に関する事務、二級・木造建築士に対する処分の同意他	二級・木造建築士試験の合格者判定事務及び二級建築事務所に対する処分の同意のため、審査会を3回開催	計画通り ○	232	232	243	243	198							〃
2	信州健康エコ住宅推進事業費	信州健康エコ住宅助成金	補助金	H28省エネ基準適合及び県産木材活用(基本額30万円)、その他の要件を満たす住宅への助成(要件に応じて加算) ※H29予定:50万円×(105戸(H29募集分)+50戸(H28募集分))	H29助成実績:153件 (H29募集分112件、28募集分41件)	計画通り ○	0	52,500	77,500	77,500	71,000	3-1-3	1-4-2 1-5-2 3-1-1	52,680				110804
2	信州健康エコ住宅推進事業費	周知、認定等経費	直接	事業周知用チラシ作成経費	事業周知のためのチラシを作成した。(10,000部) 現地機関、市町村、関係団体等へ配布、各種イベント等において配布した結果、計画以上の実績戸数となった。	計画通り ○	0	180	180	180	147		1-4-2 1-5-2 3-1-1					〃
2	信州健康エコ住宅推進事業費	ふるさと信州・環の住まい助成金		—			81,000	28,000	0	0		3-1-3	1-4-2 1-5-2 3-1-1					〃
3	信州型住宅リフォーム促進事業費	一般型リフォーム助成金	補助金	省エネ化その他のリフォーム工事費の一部(20%、上限40万円)を助成 ※H29予定:24万円×(159件(H29募集分)+5件(H28募集分))	H29助成実績:133件 (H29募集分129件、H28募集分4件)	計画通り ○	40,800	42,000	39,360	39,360	37,917		1-4-2 1-5-2 3-1-1					110805
3	信州型住宅リフォーム促進事業費	移住促進型リフォーム助成金	補助金	県外から長野県への移住者が行う上記工事費の一部(20%、上限50万円)を助成 ※H29予定:42万円×(12件(H29募集分)+5件(H28募集分))	H29助成実績:14件 (H29募集分9件、H28募集分5件)	計画通り ○	4,200	6,300	7,140	7,140	7,215		1-4-2 1-5-2 3-1-1					〃
3	信州型住宅リフォーム促進事業費	省エネ先導モデル型リフォーム助成金	補助金	高断熱化リフォーム工事費の一部(20%、上限100万円)を助成 ※H29予定:100万円×2件	H29助成実績:2件	計画通り ○	0	4,000	2,000	2,000	2,000	3-1-3	1-5-2 3-1-1	2,000				〃
3	信州型住宅リフォーム促進事業費	高断熱化改修の事例集作成等(省エネ先導モデル型)		—			0	1,146	1,146	0		3-1-3	1-5-2 3-1-1	1,146				〃
4	住宅新築資金等貸付助成事業費	償還推進助成事業	補助金	・当該年度の計画的な償還金の回収費用への補助 ・前年度までの滞納に係る償還金の回収費用への補助	市町に滞納整理費用(督促及び法的措置の申し立て等にかかる費用)の一部を助成することで、計画的な償還の推進と未償還額の回収に寄与した。	計画通り ○	5,381	4,950	4,366	4,366	4,337							110806
5	エネルギー配慮型住宅・建築物促進事業費	エネルギー配慮住宅・建築物促進事業費	直接	戸建て住宅への省エネ性能等に関する検討義務制度の効果・実績、事例等について県民等を対象に普及・啓発	エネルギー配慮型住宅(新築・リフォーム)の普及啓発のための事例集を作成。(5,000部)	計画通り ○	615	338	614	614	567	3-1-3	3-1-1	614				110811
6	空き家適正管理促進事業費	市町村空き家対策サポート事業	直接	・市町村職員を対象とした研修会を開催 ・市町村が実施する空き家相談や空き家の立入調査等へ建築・不動産・法律等の専門家を派遣	市町村職員を対象とした研修会を開催(参加者120名)及び市町村が実施する空き家相談や空き家の立入調査等への建築、法律等の専門家を派遣(延べ29名)	計画通り ○	39	367	1,674	367	326		5-2-3					110814
6	空き家適正管理促進事業費	あんしん空き家流通促進事業	補助金	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境を整備するため、既存住宅現況検査費用及び既存住宅売買瑕疵保険料の一部を補助	H29補助実績:70件 (既存住宅現況検査費用43件、既存住宅売買瑕疵保険料23件)	計画通り ○	0	5,000	3,000	2,500	2,484		5-2-3					〃
6	空き家適正管理促進事業費	“移住・定住”空き家活用モデル事業		—			0	0	5,000	0			5-2-3					〃
6	空き家適正管理促進事業費	空き家管理啓発事業		—			1,306	0	0	0			5-2-3					〃
7	信州木のある暮らし推進事業費	“信州の木”建築賞	直接	県内の木を活かした建築物(多数の県民が利用する施設等)の優良なリフォーム工事を表彰	古民家をリノベーションして、宿泊施設や店舗として活用している3作品を表彰	計画通り ○	0	695	742	742	661		1-4-2 1-5-2	29		見直し (強化・拡大)		110817
7	信州木のある暮らし推進事業費	担い手育成に向けた啓発事業	直接	中学生の技術科授業への大工技能者の派遣による実演・指導により、木造建築物の担い手確保に向けた啓発を実施	4校20クラス(生徒数647名)の技術家庭科授業に大工技能者を派遣	計画通り ○	0	384	384	384	409		1-5-2	29		〃		〃

事業番号	事業名	快適・安心住まいづくり支援事業				部局	建設部		課・室	建築住宅課		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検						
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度				総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)	
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度		主な点検区分結果
7	信州木のある暮らし推進事業費	二地域居住者向けコンパクト住宅整備事業補助金	補助金	・宿泊体験施設（モデル住宅）を整備する市町村にその費用の一部を補助（2市町村）	宿泊体験施設を整備する2町村へ補助を実施（辰野町、小川村）	計画通り ○	0	10,000	10,000	10,000		10,000	7-3-4	1-4-2 2-1-5	10,000			〃
7	信州木のある暮らし推進事業費	“二地域居住者向けコンパクト住宅”普及促進事業	直接	モデルプラン提案プレゼンテーションの開催（東京）	銀座NAGANOにおいて、プレゼンテーションを実施（6/18、11/18の2回）	計画通り ○	0	297	3,305	236		198	7-3-4	1-4-2 2-1-5	3,305	29	〃	〃
8	分譲団地残地管理事業費	分譲団地側溝補修 分譲団地支障木伐採	委託	・側溝補修 1団地 柳町B-1団地（長野市） ・支障木伐採 2団地 北笹部団地（松本市）、湯谷団地（長野市）	・側溝補修 1団地 柳町B-1団地（長野市） ・支障木伐採 1団地 北笹部団地 湯谷団地（長野市）	計画通り ○	0	0	3,513	1,783		1,361						—
<b>合 計</b>							134,581	157,792	161,334	148,582	0	139,300			69,745			